

Euro dance impression by Masumi

心がぽっと休まる

鈴木香里とセバスチャンヴェイヨ

TOMOKI

幼くして亡くなった兄弟への思い。その語りが終わると宙つりの鈴木がぼんやりと浮かび上がる。その様子は羊水の中で泳ぐ赤ん坊、生を受けて天からの長旅をしているようだ。地に足がついたら独り立ち。へその緒も天からのしがらみもいらない。自分の人生、自由な人生が待っている。未知の世界では何もかもが珍しい。鏡のような床にはいつの間にか模様ができていく。その向こうにはなにがあるのだろう。新しい出会いも困難もあるけれど、この世に生を受けたのなら前に進むしかない。「ママ、僕は永遠にママと一緒にいるよ」とご子息登場。暖かい作品だ。

美しく広がりのある照明と、計算された空間使いとオブジェの効果で、ここが小劇場だという感じさせなかったのには感心した。（3月4日 Théâtre des mains nues à Paris）



http://www.office-ai.co.jp/_image-logo/ai-edi-banner.jpg